

(4) 優秀勤労障害者

○黒木 美春（くろぎ みはる） 63歳

勤務先：宮崎部品株式会社（門川町）

勤続：36年3ヶ月

障がい名：身体障がい



宮崎部品株式会社は、東臼杵郡門川町にある自動車用ワイヤーハーネス（組電線）の製造メーカーであり、自動車部品の世界的大手である矢崎グループの子会社として、地域に根差した「ものづくり」を展開している。

黒木氏は、同社設立の翌年1989年に、矢崎総業グループ全体の方針「障がいの有無にかかわらず個人の力を十分に発揮できる職場づくり」に沿って、障がい者雇用を積極的に採用を進める中で入社した。

障がいで腕や指の動きが制限されているが、健常者とほぼ変わらず作業の速度や出来栄を維持しながら、コツコツと仕事に打ち込んできた。自動車用ワイヤーハーネス（組み電線）の製造において、電線の加工工程で絶縁テープの機械巻作業などに従事後、製品の耐久試験や破壊検査などを行う検査員として製品品質の維持向上に貢献している。2023年3月に60歳定年を迎え、その後も嘱託として検査員の業務に継続して従事している。

当初は自動車用ワイヤーハーネス（組み電線）の製造現場で従事していたが、勤勉で信用できる仕事ぶりから、現在は、部品の最終チェックをする、検査データの測定・収集を担当しており、非常に重要なポジションである。検査員という立場から、品質に問題がある場合は確実に上司に報告・連絡・相談し不具合が続けて発生した際には、すぐに周囲や管理者に報告してトラブルの拡大を防ぐ対応ができています。また、検査結果に基づいて自分の意見もしっかりと伝えることができ、任せられた仕事に対する責任感の強さがある。

また、検査データの収集には専用の測定器やPCの操作が必要で、検査員になった際に扱ったことのない装置を使用する際も、躊躇することなく操作方法を学び、わからない時には周りの方に何度も聞きながら習得した。何事にも粘り強く取り組み、やり遂げる力を持っており、勤務態度も非常にまじめで出勤率も高く、他の従業員の模範となっている。

四肢の障がいにより歩行や階段の上り下りに時間がかかるが、無理をせず自分のペースで行動することで、歩行時の転倒や機械作業でのケガもなく業務を遂行している。また、障がいの影響のため話す速度もゆっくりで発音も明瞭とは言えないが、持ち前の明るさで笑顔を絶やさず、周りとのコミュニケーションを良好に保っている。

検査員を25年以上の長期にわたり、細かい検査業務にも黙々と真摯に取り組み、正確に作業をこなしており、仕事への取組む姿勢も非常に前向きで、周囲に良い影響を与え同僚から信頼されている。仕事以外でも、レクリエーション活動にも積極的に参加し、バーベキューや果物狩りなどを職場の仲間たちと楽しみ、従業員の輪に溶け込んで良き先輩となっている。